

第3回紀の川市立中学校制服選定委員会 概要

資料①

■開催日 令和7年3月4日(火) 17時00分～

■場所 紀の川市役所本庁 502 中会議室

■出席者 打田中学校長、粉河中学校長、那賀中学校長、荒川中学校長、貴志川中学校長、東貴志小学校校長、粉河中学校 PTA 代表、麻生津小学校愛育会代表、打田中学校教諭(生徒指導代表)、事務局 教育総務課員 4 名

■会議概要

1. 開会(17時00分)

事務局の進行により開会。委員長挨拶

2. 議事

議事(1) 前回の議事概要確認について(資料①)

少し時間をとって内容の確認をお願いします。事務局から議事概要について説明を行い、追加・修正事項がないかを確認。→特に意見なし。

議事(2) 制服サンプルのお披露目について

制服のスボンサンプルが完成したため、委員にお披露目。上着は岩出市のものを使用。

議事(3) 制服上着の協議事項について(資料②)

事務局から資料②により内容を説明。前回の保護者意見をもとにした協議の振り返りの説明をする。また、追加で協議が必要な事項について説明をする。

【質疑】

事務局 学校ごとに見分けがつくようにする方が良いですか。

委員 見分けがつくのが良いが、マークを付けたり、ボタンを変更したりしても一見して分からないので、あまり意味はないと思う。ある程度色や質感で指定の制服と判断できれば良いが。

委員 制服のブレザーはどの様に決定するのですか。

事務局 選定委員会では仕様書を作成して終了と考えています。各社から仕様書にのっとった形で提案してもらい、最終的に学校で決めていただく予定です。

委員 各校にゆだねるのではなく、ある程度紀の川市の制服としての質を担保する必要があると思います。以前制服を変更した学校で、3年たったら色褪せて変わってしまった話があります。そのようにならないように検討委員会で制服を選定してもらった方が良くと思います。

委員 仕様書にのっとって各校で自由になると、色々な制服が混在することになり、学校で指定の制服かどうか判断できません。そのため、この制服が紀の川市の指定の制服ですと決めてもらう方が良いでしょう。

委員 複数の業者の提案を受けると色も異なると思うが、ズボンと同じように生地指定や色の指定はできないのですか。

事務局 柄のズボンの場合は生地を指定しないと色がかなり異なる場合があるので、指定しています。ブレザーについては、ある程度各社近い色になると考えています。ブレザーの生地は多くあり、色や生地を指定してしまうと、事業者によって仕入れの関係等で値段がかなり異なる可能性があります。そのため、ブレザーはある程度事業者が安く販売できるようにあまり指定をしないようにしたいです。

委員 各社の色や質感が大幅に異なれば、統一した意味がない。ある程度色味や質、値段をそろえて紀の川市の制服とする必要があると思います。

事務局 各社から制服のサンプルを提出してもらい、色味や質を確認できるようにします。

委員 制服のモデルチェンジにあたり、値段が上がる可能性があるが、値段についての対応は。

事務局 一般的にブレザーにすると値段が上がる傾向があります。保護者アンケートからもあったので、ブレザーにワッペンやネクタイなどを付けずに、可能な限り値段を下げられるようにします。また、サンプルの提出については、質を担保した上で値段が高くないように提出をしてもらいます。近隣市も同じようなオーダーがあると聞いているので、近隣市と同じくらいになるのではないかと考えています。

議事(4) 新制服の投票について(資料③)

事務局から、資料③により内容を説明。新制服についての事務局(案)を説明。修正事項等がないかを確認する。

【質疑】

委員 サンプル現物を確認する期間はありますか。

事務局 平日は市役所の1階、休日は河北及び河南図書館前に展示する予定です。

委員 児童生徒の投票は春休みまでで大丈夫だが、保護者の投票は春休み中にしても良いのでは。

事務局 期間については、児童生徒は修了式まで、保護者は3月中までに調整します。

議事(5) その他

事務局から、次回開催日は投票後に調整すると説明。

3. 閉会